

2010 年度 3D 教育研究会 『公開授業見学会』 レポート

公開授業見学会



グループコミュニケーション公開授業

会場：トキワ松学園中学校高等学校

開催：2010 年 12 月 1 日（水）

中学 1 年 10:40～11:30

中学 2 年 11:40～12:30

終了後意見交換会

トキワ松学園中学校高等学校（私立・全日制・女子）

住 所 〒 152-0003 東京都目黒区碑文谷 4-17-16

電話番号 03-3945-4361

HP Address <http://www.tokiwamatsu.ac.jp/chu-kou/>

トキワ松学園中学校高等学校

責任感が強く思いやりがあり、天真爛漫な生徒を育成するトキワ松学園！

日頃からの教員と生徒間のコミュニケーション能力や信頼関係の高さを感じさせる工夫された公開授業を展開。



トキワ松学園中学校高等学校の進路指導に対する基本姿勢は、「生徒一人ひとりの希望の進路を実現すること」。また、学力とともに重視しているのが、“心を育てる”教育。3D教育プログラムの導入をはじめ、PA（プロジェクトアドベンチャー）といったゲームを通して心の壁を取り除くプログラムを実践している。その教育方針と授業展開の仕方は、他校の教員にも学べる点が多い。

今回は中学1年3クラス、2年4クラスを対象に、以下のグループコミュニケーション公開授業が行われました。

【授業内容】

中学1年『1年前の私への手紙』

中学2年『6年後の私』

『もしあなたが親だったら』



当日は2学年共に全クラスの授業を見学させていただきました。

各担任の先生方は、教材をマニュアル通りに使用するのではなく、それぞれクラスの特徴や個性に合わせて事前にアレンジが施されていたようで、スムーズな授業がなされていました。

また、中学2年のあるクラスでは“劇”を取り入れた授業が展開されており、生徒たちも楽しみながら取り組んでいたようです。

既存の教材を先生方それぞれが、自由かつ臨機応変に使用されており、非常に工夫が感じられる公開授業でした。

意見交換会

初めに、公開授業を行った各担任の先生方より感想が述べられました。



- 『1年前の私への手紙』というテーマの授業を行ったのですが、手紙を書いて読み合うなかで感極まって泣いてしまった生徒もいたり、やはり自分自身を振り返るということは大切なのだと感じました。(中1a組担任 加藤美恵子先生)
- 書いた手紙を読み合いグループの中で確かめる中で、そろそろ生徒達の中で“この子は頭が良い”“この子はこういった子だ”のような固定観念みたいなものも出来上がってきている時期なので、例えば現在成績が良い子でも“1年前はこうだった”など、現在の自分がどうであるかに関わらず他の人の成長も確認したり、自分の成長は自分では分からないということを敢えて文章化してお互いに確認する事で安心感を持たせるという意味では良かったのではないかと思います。(中1c組担任 岩谷奈美先生)
- 『6年後の私』をテーマに行いました。ちょうど20歳くらいの自分をイメージさせて大きな目標に向かい、今何をすべきかということを考えさせました。先週、マインドマップで現在考えていることをどんどん書き出させてまとめる作業をしました。マインドマップというやり方と併せることで、自分の頭にあることをまとめることができ、中身は様々ですが発表する事が出来ました。(中2a組担任 富岡洋之先生)
- 先日あらかじめ『もしあなたが親だったら』という資料を生徒に配ったところ、生徒から様々なシチュエーションに対しての疑問が挙がり答えをすぐには出せないということになりました。この学校の子供達はプレゼンテーションをする事に慣れているので、ならば自分たちにあらゆるシチュエーションを決めてもらい、それに対して「良い親」「悪い親」の例を2パターンの劇として発表し、どちらが「良い親」だったかを見てもらいたい、というのが生徒達から出てきました。そして先週は2パターンの状況設定をしてもらい、本日が発表という形になりました。感想としては自分たちに都合のいいように言ってくれる親が良いのだな、という印象だったのですが、それをまた保護者会等でフィードバックするのも楽しみです。(中2b組担任 木村純子先生)
- 授業の時間も限られており授業中の混乱を避ける為に、今回は事前にある程度の状況を設定する形でテーマの資料を少し作り直しました。実際やってみた感じでは盛り上がり過ぎてしまい、最後は少し尻すぼみになった感じもありましたが、出てきた生徒の感想を読んでも面白かったようで、友だちの意見を自分の母親に伝えたい等ということもあったので何か一つの切っ掛けになればと思っています。(中2c組担任 米川朝子先生)
- 時間の関係で、私のクラスでも事前に資料を作り直しました。比較的静かで大人しいクラスなのですが、話し合いをして友達の見聞も聞けて良かったという生徒の感想でした。(中2d組担任 齊藤貴子先生)

以下、見学に来られた先生方による感想が述べられました。



1年生は本当に楽しくやられている姿、笑顔を見せながら授業に取り組むというところに感動しました。続いて2年生も見せていただきましたが、1年間でこんなにも変わるのかと思いました。きちんと子供達がグループコミュニケーションに取り組んでいて、さらに自分たちでも進めるような感じに見受けられました。1年間、先生方の指導がきっちりなされており、さらに2年生はバージョンアップされた形で指導されているのだと感じました。特に2年B組での劇を取り入れた授業が印象に残りました。先生方がそれぞれの授業においてとても工夫されているなと感じました。

蓮沼 清先生【安田学園中学校・高等学校】



大変明るく和やかな雰囲気で感心いたしました。目的や狙いがしっかりと設定されていたのが良かったと思います。各先生方の個性が非常に出ていてとてもオリジナリティのある授業でした。教材には一応マニュアルや雛形というものがあるのですが、それを先生方が独自に解釈されており各クラスの個性に合わせ対応されていた点も素晴らしいと感じました。又、生徒から色んな意見が出てくる際に先生方が臨機応変に対応されているスキルの高さにも感心しました。エゴグラム、グループコミュニケーションが核としてあると思うのですが、加えてプロジェクト・アドベンチャーやマインドマップなども融合されている点も素晴らしいと思いました。

滝沢一樹先生【長野県中野立志館高等学校】



1年生は非常に可愛らしく、2年生になると1年間であれだけ成長していってしゃべっており、この1年間の違いというものをとても感じました。生徒が良く発言をし、人の話をきちんと聞くという姿勢には日頃の先生方の努力が感じられました。また、各担任の先生と生徒達との普段からのコミュニケーションや繋がりがあったからこそその素晴らしいグループワークが成立するのだなということも感じました。

勝田恵子先生【貞静学園中学高等学校】



やはり普段の人間関係がうまく成立していないこういった授業は難しいのではないかなと思いました。当初は例えば自分の過去を掘り下げることが難しい生徒の場合はどうなのかな？とか、自分の心をお友達に見せても平気？と思っていたのですが、やはり素晴らしいなと感じました。特に1年生は入学されてからまだ1年経っていない状態なのにここまで持ってこられていて、更に2年生になるともっと自由に物事を考えられるようになっており、継続のご指導の成果が感じられました。とても勉強になりました。

井上幸恵先生【貞静学園中学高等学校】



このグループコミュニケーションというのは色々な教育の可能性を秘めているなという事を凄く実感し、私も触発されて感動しました。授業を拝見させて頂いて連想したことを4つ申し上げます。

◎グループ内で発表させる時に発表者と同時に他の生徒達の顔も見ていたのですが、ちゃんと頷きながら聞いていました。これは一つのパワーなのだなと感じました。頷いて聞かれることによって自分の発表にも価値を感じてくるのではないのかと思いました。今回はCPを高める授業だったのですが、Aを高めるには逆に頷かない事も教えていくことが必要であり、そういうところにもまた可能性はあるのかなと思いました。

◎グループを作って班長に何かをさせるという事は凄く大事であり、教員が班長にどういう役割を与えていくかというのも課題だと思いました。

◎自由な発想が生まれるということでマインドマップは非常に有効だと思いました。生徒達が本当に自由にマインドマップを書いているのを見て素晴らしく思い、もし本校でもこれを取り入れた授業をやっていくとすれば“このマインドマップからこんなものが出てきたんだ”というのを、その都度生徒に実感させていくような、何か仕掛けがあったら良いなと思いました。

◎それぞれ先生方が自由にグループコミュニケーションを行なう際にも最終的にちゃんとそれぞれゴールを持っているところが素晴らしいと感じました。

寺本郁夫先生【日出中学校・高等学校】



本日はありがとうございました。

トキワ松学園でグループコミュニケーションの授業を見学させて頂くのは今回で2回目でした。毎回4月の段階で生徒さんの研修会でお伺いさせて頂いているのですが、入学段階から非常にパワフルな集団であるということを感じております。あれから1年生は約半年、2年生は約1年半くらい経ち久々にお目にかかったのですが、全体的に3点程感じた事を述べます。

1点目は、教室の中が非常にきれいでした。廊下の掲示物等もすごく整然となされておりました。私は“掃除4カ条”というものを作って会社でも実践しているのですが、やはりゴミや汚れ、換気の悪さなど

はマイナスのイメージです。従って教室が汚れていたり黒板が汚れていたり机が並んでいなかったりというだけで実は環境としては非常にマイナスになってしまいます。そういう環境が行き届いているなということを痛感しました。

2点目は、先生方がグルコミの主旨というものを本当に理解されていて、それぞれの学年やクラスの成長度合に応じてプリントを工夫されている点が素晴らしいと思います。事前にこのプログラムを使用して子供たちに今、何を訴えていくのか？という担任の先生の思いというのが非常に伝わりました。

3点目、生徒さんのメリハリが凄いと感じました。これは喋る時は喋り、考える時は考えるということ。やはり日頃からの生徒間のコミュニケーションが上手くいっている表れだと思います。また、先生と生徒との信頼関係が出来上がっているのだなと本当に感じました。

最近、コミュニケーション能力が不足しているということが良く言われていますが、やはり自分の事だけで精一杯という世の中になってしまっているのかと残念に感じてしまうことが多いのですが、やはりコミュニケーションとは“相手の立場に立って考え行動をすること”だと私は思っています。ですから生徒たちが日頃からその事を意識して学校生活あるいは家庭での生活や友達との関係等そういう事が出来たら、もっと生徒達は伸びていき、自分を知るだけではなく、仲間や他人に対して、そういう一番重要な所がこの学校で構築されていくのかなということを感じました。

菊地 淳【KA 教育】



事前準備を完璧には出来ない部分もあるのですが、それぞれ担任が自分のクラスの中を見ながら行なっております。本校のカリキュラムとしては『この日に必ずこれをやりましょう』という事は行なっておらず、タイムリーに“こういうことで使える”という元があった中で“今、これを使ってみよう”というやり方で年間のものをこなしていく形です。道徳の時間を使ってそれぞれ教員のやり方で行なっておりますので、今後はやはりもっとそのフィードバックをしてもらい、まとめていかなければならないと感じております。

また、他校さんで公開授業等がございましたら見学に行かせて頂き勉強したいと思っております。

本日はどうもありがとうございました。

中山正秀先生【トキワ松学園中学校高等学校】

photo report



出来る・大丈夫・大成功

3D 教育研究会

2010. 12.1 3D教育研究会 公開授業見学会 in トキワ松学園中学校高等学校

株 式 会 社 K A 教 育

〒 173-0012

東京都板橋区大和町 12-12

03-6784-7675